



My Town Tobetsu

広報

とらべつ

発行＝当別町 編集＝企画課

No.424 昭和64年1月1日発行

迎春

1

冬景色

当別町の最高峰、ピンネシリ(標高1,100メートル)を望む



▲旧金沢橋上流150メートルに新設された金沢橋



▲道道札幌・当別線の交差点から川下左岸へ通じる南1号橋

進む道路網整備

金沢橋・南1号橋・稲穂通踏切開通

町の発展に欠かすことができない、道路網の整備が着々と進められています。

昨年8月に札幌大橋の完成により、札幌に直結したほか10月31日には金沢橋、11月16日には南1号橋が完成しました。

また、鉄北第一地区土地区画整理事業及び都市計画街路事業で工事を進めていた稲穂通線の踏切も11月28日に完成し供用を開始しました。

金沢橋は、町市街地と金沢地区をほぼ一直線に結ぶ町道

建設の一環として計画されたもので、旧金沢橋の上流150メートルに建設されました。

56年から工事に入っていたこの橋は、全長148メートル、幅7・5メートルの片側一車線で、下流側に2メートルの歩道も設けられています。

道路・当別浜益港線と交差する部分から金沢地区までの620メートルが8年がかりで整備されましたが、総事業費は6億6千280万となりました。

また、11月16日には、札幌大橋につながる道道札幌当別線と川下左岸を結ぶ南1号橋が完成し、農家が札幌市場まで農作物を運ぶのにも大変役立つものと考えられています。

南1号橋は道の「農業道整備事業」の一つで、都市近郊型農業推進地域とした位置付けの中で59年から着工しているものです。

この橋は、全長202・5メートルで幅7メートルの片側一車線で、5年がかりで整備されましたが、総事業費は9億5千万円となっています。

稲穂通り踏切は、60年から工事に入っていた稲穂通道路改良工事の中で、新設したもので、歩道両側3・5メートル、車道9メートルの踏切です。



▲駅北側と国道337号を結ぶ稲穂通り踏切

また、今年10月完成予定の踏切の整備もこれらの工事に併せ、行われたもので駅北側住宅地と国道337号及び商店街に出るには非常に便利になります。

また、今年10月完成予定の踏切新設の事業費は2千7百万円(概算)で、町がJR北海道に工事費として負担金を支出し、JR側が工事を行うものです。

春 迎

希望と躍進にあふれた、輝かしい新春を町民の皆様とともに健康で迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

希望に満ちた一九八九年の新春を皆様とともに迎えることが出来ました。私共は、基幹産業で

ある農業の安定なくして本町の発展はないと考えます。景気は若干好転のきざしがあるものの、昨年は米価、麦価の値下げが

境づくりに総合体育館の建設着工と国際交流を進めて参りました。迎えます本年は札幌近郊都市にふさわしい、又、21世紀に向けた

成が予定され健康に満ちた明るい町づくりの推進が期待されます。更に、本町をとりまく環境は、昨年にもまして厳しいものがあり、私達議会人はその使命と責任の重大さを認識し、



町満な議会運営で郷土の伸展をめざして 宮本 源之丞

行われるなど農家経済はもとより商工振興、強いては、本町発展に大きな影響を受けた年でもありました。その様の中で道都札

口増加により町の活性化が大きいに望まれるところであります。更に本年10月には多くの方々お待ち望んでいた総合体育館の完



より明るく心豊かで活力ある町づくりをめざして 配野 定平

当別町長 配野 定平

町づくりを進めるため総合開発計画の見直しに着手して参ります。町民の負託を受け町政をお預りして、残すところ7カ月となりましたが、継続事業を最優先に進めるとともに「道民の森」の周辺整備、当別ダム着工に向けての対応、総合体育館の完成等本町発展に向け諸政策を進めて参ります。

1989年元旦 今年もよろしくお祝い申し上げます

当別町 当別町議会

- | | |
|-----|--------|
| 町長 | 配野 定平 |
| 助役 | 長谷川 政吉 |
| 収入役 | 伊達 寿之 |
| 教育長 | 有澤 慎雄 |
| 議長 | 宮本源之丞 |
| 副議長 | 加藤 義正 |
| 議員 | 村上 弘志 |
| | 菊崎 善雄 |
| | 田畑富美男 |
| | 宮本 勝 |
| | 小武 正寿 |
| | 谷保 茂一 |
| | 湯浅 俊一 |
| | 小林 淳一 |
| | 島田 春雄 |
| | 竹田 和雄 |
| | 近藤 貞雄 |
| | 谷口 清治 |
| | 佐々木 正信 |
| | 柏樹 正 |
| | 千葉 莊康 |
| | 青山 義虎 |
| | 泉亭 俊彦 |
| | 佐藤 数信 |
| | 金山 保 |
| | 堀 梅治 |
| | 川村 弘司 |
| | (議席順) |



▲ストロベリー農園開園
7月3日、太美地区の農家が共同で開園したいちご農園。開園当日は1,000人もの方が訪れ、大盛況となりました。



▲当別高校女子ソフト部全道優勝
6月18日から3日間の日程で、当別町内で開催された第39回北海道高校女子ソフトボール選手権大会で当別高校が見事2年ぶり、3度目の優勝を飾りました。

▼当別フォックス・硬式野球全国一
8月1日から東京で開かれた第14回日本選手権大会（日本ポニーベースボール協会主催）で本道代表として出場、小学生の部で見事全国優勝しました。



▼札幌大橋開通
当別町と札幌市を直結する札幌大橋の開通式が8月10日行われました。同橋は、8年の歳月と約70億円の工費をかけ、上下各一車線の全長985.3メートルの道内では2番目の橋として誕生しました。



▲第6回あそ雪の広場
2月12日から14日の3日間、阿蘇公園で開催。見事な雪像と、冬の花火で町民を楽しませてくれました。

▶スウェーデンヒルズ入選
（北海道まちづくり100選）
3月31日北風風の美しいまち並みづくりと快適な住まいづくりが高く評価されて、スウェーデンヒルズが入選しました。

▼夏至祭88
6月19日、日本で唯一と言われる「夏至祭」がスウェーデンヒルズで開かれ、町内外から大勢の家族連れが訪れ、グリーンコンサートやフォークダンスを楽しみました。



▼ファミリー農園オープン
町の一村一品として5年目をむかえた同農園。5月15日は札幌を中心に1,200人の農園主が、秋の収穫を楽しみに種イモを植えました。



あんぐる
1988

「まちづくりの足跡」 明るく豊かな郷土づくり

主なできごと

- 1月 3日 新年交礼会
- 7日 当別消防出初式 当別小・西当小スケートリンクオープン
- 15日 第40回当別町成人式
- 17日 新春子どもレクリエーション大会
- 27日 青少年善行者表彰式
- 31日 第26回町民スキー大会
- 2月 7日 第15回町民スケート大会
- 11日 スウェーデンヒルズ歩くスキーの集い
- 12〜14日 第6回あそ雪の広場
- 21日 第6回ジュニアスキー大会
- 25日 第19回当別町婦人大会
- 27日 教育奨励賞授与式
- 3月 5日 当別商工会永年勤続従業員表彰式
- 13日 スノーモービルフェスティバル
- 29日 第1回スポーツ賞贈呈式
- 31日 北海道まちづくり100選
- 4月 8日 当別町赤十字奉仕団総会
- 22日 スウェーデン・ストックホルム市長表敬訪問
- 5月 8日 町内一斉清掃・パンケ川清掃
- 15日 ファミリー農園オープン
- 18日 ストックホルム・バツン
- 29日 ハ合唱団表敬訪問
サントリイ探鳥会
スウェーデン大使表敬訪問
- 6月 10日 ことばの教室開級式
- 12日 第17回北海道高等学校ウエイトリフティング競技会
- 13日 第12回当別町盆裁展
- 18〜20日 第39回北海道高校女子ソフトボール選手権大会
- 19日 夏至祭
- 20日 町内各プールオープン

◀町総合体育館建設着手

10月13日、町総合体育館の起工式が町環境改善センター南側の建設地で行われました。

建物の完成は今年10月上旬の予定で、町民が長く待ち望んでいた、スポーツの拠点として誕生します。体育館建物は、10,802平方メートルの敷地に鉄筋コンクリート2階建てで、総床面積4,287.9平方メートルです。1階には、バスケットコートなら2面、バレーコート6人制なら3面、バドミントンコートなら3面とれる、床面積1,466.4平方メートルのアリーナとトレーニングルーム2室などからなっています。2階には柔・剣道の格技室の他、1周146メートルのランニングコースが設けられます。



総合体育館完成予想図

▶石狩平野ちよっと

サイク'88

当別、江別、新篠津の3市町村を舞台に10月16日、「石狩平野ちよっとサイク'88」が開かれ、約70キロのコースを元気いっぱいペダルをこぎました。初めての催しに、11市町村から258人が参加をし、江別の飛鳥山公園を出発し、途中スウェーデンヒルズと阿蘇公園に立ち寄り、新篠津を経由し6時間かけて全員がゴールしました。



▼石狩平原スキー場オープン

12月21日、町内で初めての本格的スキー場として石狩平原スキー場がオープンしました。2本のリフトとナイター設備を整え、石狩平野を展望できるスキー場として、人気を集めそうです。



▼当別神社例大祭

8月14日から16日までの日程で当別神社例大祭が行われました。神社境内や阿蘇公園内には、露店が並び大勢の家族連れでにぎわいました。また、町内をみこしが練り歩きました。



▲産業夏まつり

7月16日、17日の両日、地場産業の活性化をめざす産業夏まつりが開かれ、畜産物、野菜、花などの即売や当別太鼓、当別音頭パレードも行われました。

▼「道民の森」建設

昭和65年度一部オープン、昭和67年度完成をめざす「道民の森」工事が本格的に着手されました。青山三番川地域の11,000ヘクタールの道有林に、キャンプ場、ゴルフ場、スキー場、展望台、ホビー・工芸センターのほか森林浴の森、果実の成る木の森などの施設が予定されています。



▲交通事故抑止町民大会

9月24日、急増する交通事故に町民総ぐるみで取り組もうと、交通事故抑止町民大会が開かれました。各駐在区代表など67団体約1,000人が集まり、町民代表による決意表明などが行われました。



▲第39回当別町文化祭

10月29日から11月3日までの5日間、町公民館の会場を中心に町文化祭が開かれ、発表、展示部門に約1万人の町民が見学に訪れました。

24日	21日	20日	3日	12月	16日	14日	3日	31日	29日	22日	16日	13日	5日	24日	20日	11日	9日	1日	9月	28日	27日	21日	14日	10日	9日	7日	5日	31日	24日	23日	16日	3日	7月		
中小屋スキー場オープン	石狩平原スキー場オープン	第10回当別町議会	当別の子ども教育を考える会	南一号橋渡橋式	振替納税推進の街宣言	当別町表彰式	第39回当別町文化祭	金沢橋渡橋式	第39回当別町10回消費生活展	産業秋まつり・第10回消費生活展	石狩平野ちよっとサイク'88	総合体育館起工式	献血功労者感謝状伝達式	交通事故抑止町民大会	戦没者追悼式	ファミリー農園収穫祭	弁華別会館落成式	四番川会館落成式	ストロベリー農園オープン・第17回少年野球大会	9月	第17回親子ソフトボール大会・当別太鼓会館落成式・第22回石狩支庁地区身体障害者スポーツ大会	第22回町民水泳大会	ワンデイウォーキング	当別神社例大祭・夏の文化まつり芸能発表会	札幌大橋開通式	老人クラブ連合大会	当別フォックス小学生硬式野球・日本選手権大会で優勝	第3回ふれあいスポーツ大会	第31回全当別タイムス少年野球大会・第14回女子フットベイスポール大会	第3回ふれあいスポーツ大会	産業夏まつり	文学碑「石狩川」献花式	産学連携大会	ストロベリー農園オープン・第17回少年野球大会	7月

12月1日から各地域で歳末助けあい募金活動が一齐に始まりましたが、「助け合う心を持つ」と当別中学校生徒会（鈴木元次生徒会長）が中心となり街頭募金を行いました。

当別中学校では、毎年生徒会が自発的に取り組んでいるもので、12月3日から9日までの7日間の日程で、校内募金と街頭募金活動に入りました。

街頭募金は6日から8日までの3日間、3班に分かれ当別駅前、当別農協前、7丁目ストア前に立ち募金を呼びかけました。

冷たい風の吹く中、生徒らは通勤や買物に訪れる町民に「募金にご協力ください」と声をかけると、足を止め「ご苦労さま」と募金に大勢の方が協力をしていました。

善意の募金は、校内募金も合わせると、49,563円にもなり12月13日鈴木生徒会会長らが役場を訪れ、中山栄一共同募金会長に手渡しました。

歳末募金で助け合う心を



リハビリ教室で機能回復



6月から町母子健康センターで開かれていた、リハビリ教室の今年度最後の教室が12月8日開かれました。

この教室は、脳卒中などの後遺症で体が不自由になった人の機能回復を目指すもので、18人が母子健康センターで毎月一回の訓練を実施していました。

初めは、足や腕など自由に曲がらなかった人も、理学療養士の本田勇さんの指導でマットの上での寝返りや足の屈伸などで硬くなっていった身体も、少しずつ軟らかくなり機能の回復も進んでいます。

「一人ではできなかったが、皆んなでやると自信もついてきます」と参加者の中には今まで、物を十分つかむことができなかった手の回復に満足そうでした。

町内2番目のスキー場として12月21日、石狩平原スキー場がオープンし、スキーヤーにとっては一段と楽しい冬になっています。

同スキー場は、昨年夏から石狩平原ゴルフ場横(弁華別)に東海スポーツ振興株式会社(森井肇社長)が工事を進めていたもので、市街地から約5キロメートル、車で10分もあれば十分着くという場所にありま

す。石狩平野を眺望できるこのスキー場は、標高155メートルで約650と320メートルの2本のコースに、ペアとシングルリフトの2基が設置され、夜9時までナイターが出来るようになっています。

平均斜度は13度から15度ほどで、全体的にはファミリーゲレンデとなっており、大人から小人まで楽しめるようになっています。

この日の積雪量は50センチと例年にない少ない雪でしたが、オープンを待ちわびたスキーヤー30人がリフト前に列をつくり、1番乗りを目指していました。

石狩平原スキー場オープン



日常生活の中で、消費者協会の活動をどう進めたらよいかを考えようと12月2日、勤労者福祉センターで当別消費者協会(宮永美代子会長・160人)主催の「くらしの講座」が開かれました。

同協会が会員や町民に呼びかけ毎年開催しているもので、道消費者協会会長三宅嘉子さんが、「消費者協会の意義と活動について」と題して、集まった主婦100人を前に講演を行いました。

この中で三宅会長は「婦人の活動は幅広くなっています。激しい社会の変化に対応できる判断力を身につけることが必要です」と強調するとともに、最近は高齢者を中心に契約や健康食品に関するトラブルが多くなっていることに、注意するよう呼びかけました。

消費者協会が暮らしの講座



あなたの地区の楽しい催しや、できごとなどを、企画課広報広聴係に、どしどし、お知らせください。

(☎3局2330 内線243)

「火に気をつけて、元気で明るい年を迎えてください」と当別消防署(瀬戸脩署長)の署員が、町内の独り暮らしのお年寄り約130人に送る年賀状作りを行いました。

この年賀状作りは、昭和48年から続いており今では、年賀状を楽しみというお年寄りもいます。

きっかけは防火診断に署員が回ったところ「火事でもないのに何にしに来たのか」などと怪しまれたので、お年寄りと接しやすい状況をつくり、防火意識をも高めてもらおうと始められたものです。

年賀状の図柄は、えとの巳にちなんで、へびをあしらって1枚、1枚ガリ版印刷し、6色の色鉛筆で色塗りし、元旦に届くよう作業をしていました。

年賀状で火の用心訴え



おめでとう成人

330人が大人の仲間入り

1月15日は成人の日です。大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます国民の祝日です。ことし町内で晴れの成人式を迎えるのは、昭和43年4月2日から昭和44年4月1日までに生まれた、男性173人、女性157人の合計330人です。わたしたちの生活に密着し

ている法律民法では、未成年で結婚している場合を除き、「満20年ヲ以テ成人トス」(第3条)と明記しており、はたちになって初めて、社会的、法的に1人前の社会人として認められることになります。町では、330人の新成人をお祝いする「成人式」を次のとおり行います。

当別町成人式

日時 昭和64年1月15日(日)
 会場 当別町公民館
 受付 10:00~11:00
 式典 11:00~11:40
 記念行事・記念写真 11:40~13:00
 当中吹奏楽部OBによる演奏会、BINGOゲームなど楽しい記念行事が計画されています。記念写真の受付をしますが、900円が必要です。詳しくは、教育委員会(☎3-2511番)へお問い合わせください。



昨年の成人式から



昨年の成人式から

幸町
 新垣聖子
 市村美香
 北原孝志

大町
 石井京子
 伊藤尚美
 今村裕康
 大小野恵美
 小柏葉一
 小齋藤佐
 佐藤野川
 瀬相高戸
 中服花水
 向留井内
 山宮邊

泉町
 大村聡美
 小笠原浩典
 小野寺史子
 上口恭史
 工藤理由
 下段由英
 棚新田貴
 星出泰弘
 松浦部友一
 欠米口雅彦

旭町
 乾成和
 神山康武
 川口知里
 金藤克彦
 齊佐々木昭
 鈴照中守
 早川美幸
 宮向井里
 向井忠通
 茂又孝志

万代町
 河地寿恵
 近藤洋美
 長谷川純子

白樺町
 今井亜紀
 小山田円子
 菊地秋次
 菅沼葉さ
 千島佳奈
 寺園直純
 西井雪
 深井奈津
 福田美
 星管亜也

北栄町
 青木敬一
 岩月達也
 榮木一紀
 木屋路静枝
 工藤友美
 小杉憲一
 高畑井裕
 筒橋みどり
 藤古本章
 丸山孝加
 村上健司

渡辺淳子
末広町
 石川栄一
 伊藤隆薫
 内海徳幸
 岡島尚美
 加賀谷義哉
 菊池さちこ
 木原京子
 栗原敏行
 小久保理恵
 齊藤由起子
 佐々木かおり
 藤原雄介
 重本賢一
 下山勇樹
 鈴木光朝
 須知花雅
 上谷秀利
 奈須野間
 馬場一弓
 矢島千美
 山崎美香
 山原結花
 吉原邊

中川直子
 山浩幸

西町
 天野恵子
 河原一魅
 川村裕美
 齋藤本直
 坂澤本麻
 関高垣智
 西野玉美
 島中堅吾
 藤原忍弘
 欠戸幸夫
 澤孝夫

元町
 池邊幸一
 今井敦宏
 今村鶴一
 大崎紀一
 大谷裕樹
 大野道弘
 奥鎌加久
 桑原裕知
 小竹山

坂井利成
 原充治
 佐藤伸和
 島谷和香
 高木ひろみ
 高橋由起
 高谷洋子
 田淵正幸
 中島香苗
 萩原真奈
 藤堀井聖
 前川直美
 籬上弘典
 森井正義
 横部広明
 阿渡郁生

春日町
 上田恭子
 大小川健
 小片山晴
 北野直貴
 額小直貴
 小島林寛
 白川ゆかり
 高橋貢

田中里美
 畑中修治
 松村等学
 山崎学

栄町
 小出誠
 齋藤ゆかり
 茂野初美
 曾根敏江
 山田剛剛

下川町
 潮宮彰彦
 本真裕美

六軒町
 大小澤聡子
 倉原史久
 小林和正
 黒田直紀
 高林弘雅
 米田正英
 目黒由美
 山崎和也
 山田こゆき
 吉田知奈
 渡邊奈津江

弁華別
 近藤努

笹川高弘
 関山幸恵
 高橋一恵
 野布瀬美智代
 松木香
 村上理恵子

茂平沢
 高橋正利
 竹田英明
 田邊早苗
 佐藤和範

青山中央
 天野英幸
 菊地徹
 小武美穂
 山本雅子

二番川
 黒澤直美
 横山恵子

中小屋
 岩崎豊明
 上村喜博
 大坂博幸
 大谷幹男
 山原秀樹
 山西英治

金沢
 工藤明茂
 高橋文行
 辻村博子
 寺林麗子

樺戸町
 岩井真吾
 岩城智浩
 中越友也
 野辺地清敏
 古山幸枝
 森山志津香
 田聡

東裏
 稲村裕子
 川原直美
 佐々木純美
 下段裕美
 堂前博章
 山雪知恵美

東蔵
 川村隆之
 古山ひとみ
 山田渉

西蔵
 北島真喜子
 坂牧正則

高橋淳子
 村田瑠美子
 山本ひとみ

対雁通
 岩田正幸
 岩本克也
 加藤多美子
 滝本博宣
 武井美左
 塚島真由美
 橋早苗

川下右岸
 鈴木かずえ
 菊池裕司

川下左岸
 市川貴美子
 笠田正和
 鈴木実雪
 西村美由
 端崎由美子

太美町
 阿部明恵
 安喰健二
 石橋雪万
 大畑千絵
 尾本きみ
 小藤圭子
 齊佐野美樹
 澤田隆義

清泉亭俊和
 高寺松嶋美佐子
 富岡純秀
 新福田しほ
 藤澤啓江
 松尾かな裕
 三浦芳志朗
 三富格志
 宮本政美
 安田美智代

当別太
 秋吉美和
 木下藤幸弘
 進山岸俊博

ビトエ
 井利元か
 坂井恵美
 白木晴彦

高岡
 高橋良一
 保谷剛

獅子内
 開沼百恵
 高島由美子

藤村有貴子
 渡邊ゆかり

上当別
 浅野剛

若葉町
 右田美穂子
 三宅敦子

自衛隊
 相澤修司
 浅井勝之
 浅野卓哉
 井谷淳司
 大菅野明
 菅小出博和
 駒水博永
 高崎日出男
 長野謙一
 福田豊文
 古前博浩
 前持宣隆
 森田謙志
 矢端進一
 剛

国民年金だより

年金相談

Q&A ③

■60歳以降の任意加入

Q 私は、国民年金に加入していませんが保険料の未納月数が多く60歳まで保険料を納めても老齢基礎年金を受けるためには3年余り保険料納付期間(受給資格期間)が足りないうことがわかりました。私は年金を受けることはどうしてできないのでしょうか。

A 国民年金に任意加入することにより老齢基礎年金を受給できます。

国民年金は基本的に20歳から60歳までの間、加入することになっていますが、新たに60歳から65歳に達するまでの間、本人の希望によって任意加入できる制度があります。

したがって、あなたのように60歳になっても老齢基礎年金の受給資格期間を満たしていない人や、60歳までの間に保険料未納期間があり、その分老齢基礎年金額が少なくな

る人についても、任意加入することによって受給資格を満たしたり、年金額を増額(満額まで)することができま

■免除期間の保険料の追納

Q 私は、過去に生活が苦しくて国民年金の保険料納付が困難なため、保険料免除をうけましたが、その分年金額が少なくなると聞きました。年金額を増額(満額まで)するにはどうしたらよいでしょうか。

A 保険料の追納によりその分、年金額が増えます。

保険料の追納制度とは、国民年金保険料の免除をうけていた人がその後、保険料を納付できるようになったとき、より高い年金額をうけようとするときに免除期間の全部又は、一部の保険料を納めることができる制度です。

保険料免除期間は、年金額を計算する場合、保険料を納めた期間の3分の1として年金額が計算されますので、その分年金額が少なくなります。したがって、保険料の追納をすることにより年金額が増えます。

なお、保険料の追納については、次の条件があります。

- ①追納は、老齢基礎年金を受ける前で行う必要があります。
- ②追納できる保険料は、追納しようとする月の前月の10年以内の免除期間にかかるものです。
- ③免除期間の一部を追納しようとするときは、先に経過した月に遡って順次行うことになっていきます。
- ④追納する保険料額は、免除期間の各月の保険料額に政令で定める額を加算した額となります。

■年金に関する諸届は早めに季節労務等などで国民年金から厚生年金へ、または仕事が終わって厚生年金の加入者でなくなった時は、会社等から社会保険・厚生年金に関する資格証明書を受け、14日以内に印鑑持参のうえ手続き願います。

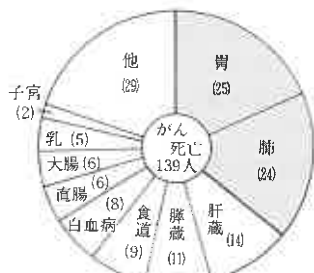
▼年金相談所の開設
 年金・保険の相談を行います。
 ▼相談日 1月20日(金)
 ▼場所・時間 当別町商工会館 午前10時～午後3時

検診日程

とき 2月3日(金)
 2月4日(土)
 受付時間 午前7時30分から9時まで
 ところ 農村環境改善センター(西町)

申込先 住民課保健衛生係
 ☎312330 (内線126・127)

対象者	料 金
胃がん 35歳以上	・1700円(国保者と生活保護者は無料)
肺がん 40歳以上	・無料 ・喀たん検査 1700円(国保者と生活保護者は無料)



当別町がん死亡数(S 59～62年)

健診と相談

母親学級

Aコース (妊娠中を健康にすこすために)
 とき 1月13日(金)
 受付 12時50分～13時
 ところ 母子健康センター

Bコース お母さんの栄養学
 とき 2月2日(木)
 受付 9時20分～9時30分
 ところ 当別保健所

妊婦健診

産婦人科医師による診察、血液、尿検査、血圧測定等の健診
 とき 1月18日(水)
 受付 13時～13時30分
 ところ 母子健康センター
 料金 無料

乳幼児健診

小児科医師(札幌市立病院)の診察、保健婦、栄養士による相談を行います。



3歳児健診

とき 1月26日(木)
 受付 9時15分～10時30分
 ところ 当別保健所
 ※受付の次に尿検査を行いますので、排尿時間に留意してください。

予防接種

ツ反	BCG	会場	受付時間
1月10日	1月12日	母子健康センター	13:00～13:30
三種混合			
1月19日	2月9日	母子健康センター	13:00～13:30

成人病フリニツク

内容 血圧や糖尿病、貧血、高脂血症、心臓病に関する検査や指導を行います。
 とき 1月25日(水)
 受付 9時～11時
 ところ 当別保健所
 料金 血圧、尿、心電図は無料(ただし40歳以上)その他の有料
 申込先 保健衛生係(☎312330 内線126・127)

成人病健康相談

内容 血圧や尿の検査および食事、日常生活の健康管理について相談を受けま

とき 1月11日(水)
 2月7日(火)
 受付 9時30分～11時
 ところ 役場福祉相談室

おすすめですか？

胃がん・肺がん検診

胃がん・肺がん検診が同時に受診できます

当別町の62年1月～12月の死亡状況を見ると、総死亡数239人のうち、がん死亡は32人(男15・女17)で「4人に1人」はがんで亡くなっています。年齢的には、65歳以上が20

こんにちは 保健婦です

☎3-2330(内線127)

わけて、がん死亡の約3割を占めています。がんの早期発見のためには検診が一番です。町では63年度より胃がん検診と同時に肺

がん検診も受診できるようにになりました。胃がん・肺がんから身を守るためにこの機会に是非検診を受けてみませんか。

こんな人に受けてほしい
 ◎検診を一度も受けてない方
 (検診でのがん発見者の4人に1人は初めて受けた方となっています。)

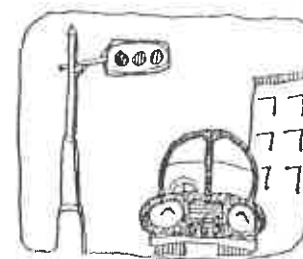
◎以前に検診を受けて4年以上たっている方
 (検診結果「異常なし」だと安心して何年も受けないと早期発見の意味がなくなりま

す。検診は毎年受けてこそ意味があるのです。)

◎検診を予定していたが都合が悪く受けられなかった方
 ◎夏期は忙しいが、冬期は受診できる方

◎65歳以上の方(昨年、老人健康診査を受けた方も、がん検診は含まれていないのでこの機会を利用ください)

お知らせ



信号機

冬道の交通事故防止

本格的な降・積雪や、路面の凍結、吹雪による視界不良等道路環境が著しく悪化することにより、スリップなどによる追突や正面衝突等の冬型事故が多発します。このような事故を防止するため、車両を運転する方は、常に安全速度でゆとりある運転に心がけましょう。また、歩行者の方も雪山の陰からの急な飛び出しは危険です。

- ◎道路を横断するときは、必ず安全確認をしましょう。
- ◎安全は、ゆっくり走る、ゆとりから
- ◎だいたいようぶ、でももう一度右・左を見て
- ◎冬道は路面が滑るために自動車の停止距離が長くなり、歩行者も転びやすいので、車の直前直後の横断や道路の飛び出しは絶対やめましょう。
- ◎冬道では、道路状況に応じてスピードをコントロールすることが大切です。スピードは控えめに道路環境に応じた安全速度で運転しましょう。

(わたしも交通安全運動)

昭和64年度 保育所児童募集

昭和64年度各保育所の入所児童の募集を行います。

入所を希望される方は、次の要領で申込みください。

申込先

東、西、南、北保育所は、福祉保育課保育係へ、弁華別、蕨岱、西当別、川下、東裏、中小屋保育所はそれぞれの保育所へ申し込みください。

なお、東、西保育所を希望される方は、世帯内で課税された方全員の63年分所得税額及び63年度町民税、固定資産税がわかる書類が必要です。

保育所名と募集人員

保育所名	募集人員					計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4・5歳児	
常設			6	20	34	60
東(元町)						
西(末広町)	3	12	18	20	67	120
季節				20	40	60
南(樺戸町)						
北(六軒町)				15	20	35
へき地				15	20	35
	別ヶ					
	岱			15	20	35
	別下		6	20	64	90
	裏屋			15	20	35
小				15	20	35

受付期間
1月6日(金)～31日(火)
まで
問い合わせ
入所児童の対象範囲、入所

基準など詳しいことは、福祉
保育課保育係(☎3-233
0番内線134番)まで

1月31日まで 支払調書の提出

給料・報酬・料金・配当・

利子などの支払者は、支払先の住所、氏名、支払金額などを記載した書類(支払調書といいますが)を役場税務課を経由して税務署へ提出することになっていきます。

この支払調書は、昭和63年中の支払分を取りまとめて提出するもので、提出期限は利子、配当などの一部を除き、1月31日までとなっています。

提出された支払調書は、支払先ごとに整理され、課税の公平を図るための重要な資料となりますので、正しく記載し

た支払調書を期限内に遅れな
いように提出してください。
支払調書の種類は数多くあ
りますが、主なものは次のと
おりです。

- (1)給与所得の源泉徴収票と給与支払報告書
- (2)報酬・料金・契約金及び賞金の支払調書
- (3)不動産の使用料等の支払調書
- (4)不動産の譲受けの対価の支払調書
- (5)不動産の売買又は貸付けのあつせん手数料の支払調書

※支払調書の提出に関する必要書類については、過日、年末調整説明会の時にお渡ししましたが都合により出席され

ず、まだ必要書類をお手元に用意されていない方は税務課

係まで申し出てください。

なお、不明な点については、

税務課税務係(☎3-2330内線112・117番)まで問い合

わせください。

お忘れなく 償却資産の申告

昭和64年1月1日現在、当別町で事業を営み、その事業用償却資産(構築物、機械及び装置、車両及び運搬具、工具器具及び備品など)を所有している方は、固定資産税(町

税)が課税されます。

償却資産申告書は、1月25日(水)までに税務課資産税

係へ提出してください。

詳しくは、資産税係(☎3-2330番内線115番)まで

お忘れなく 住宅用地の申告

住宅用地は、所有者が申告する「住宅用地に対する固定資産税の課税標準の特例申告書」に基づき認定される居住用家屋の敷地です。

土地評価額の2分の1になります。(200平方メートル以下の小規模住宅用地部分については、4分の1になります)

▼申告していただく方
昭和64年1月1日現在、当別町に土地を所有する方で、住宅の新築により新たに住宅用地となる場合や、住宅の増築、改築、減失などにより、昭和63年度以前の申告内容に異動がある場合です。

▼申告期限 1月31日(火)

▼申告先 税務課資産税係(☎3-2330番内線115番)まで

受け付けます

建設工事等入札参加資格審査申請書

昭和64年、65年度の建設工事、測量、調査、設計、及び建設工事に伴う物品などの入札参加資格審査の申請書を次の通り受け付けます。

隔年制で有効期間は2年です。

期間内に申請してください。

▼申請期間及び時間

2月1日(水)から28日(火)まで

▼申請場所
役場3階建設課管理係

▼申請用紙
北海道様式 北海道土木協会(札幌市中央区北4条西4丁目ニュー札幌ビル5階)で販売されています

▼問い合わせ
建設課管理係(☎3-2330内線114番)まで

暖かな心の贈り物 献血にご協力を

1月9日(月)
①役場前
午前10時～11時30分
②当別農協前
午後12時30分～4時

新着図書から



公民館図書室

- 貸出は、午前10時～午後5時
- 休館日は、毎週月曜日、祝日
- 貸出期間は、2週間です
- 貸出冊数は、3冊までです
- 利用は、無料です

一般図書

著者	図書名
村上春樹	ダンス・ダンス・ダンス(以下)
河原敏明	美智子妃
本城美智子	彼と彼女の百の微罪
安西知津江	私は指をつめた女
北野さき	ここに母あり
和泉雅子	めざせ北極点
犬養智子	女三十代からのすてき人生
森瑶子	アイランド
田辺聖子	不機嫌な恋人
蓮見清一	「アグネス論争」を読む

児童図書

著者	図書名
ジルパークレム	雪の日のパーティ
ながかわりえこ	とらたとまるた
ディック=ブルーナ	ブルーナのかず1、2、3
てらおかくにお	くみちゃんかないよ
松岡享子	おふろだいすき
加藤勝久	のりもの101
いわむらかずお	14ひきのひっこし
中山あい子	散歩するねこ
松村彬夫	ふれあいしぜん図鑑
光永久夫	エテケット事典
デニズ=ポントン	いきなりダゴン

お知らせ

昭和64年当別町こども新春レクリエーション大会

子供たちの楽しみの一つになった百人一首の腕を競う、新春レクリエーション大会が次のとおり開かれます。この大会は、町内の地域子供会から、男

女各20チーム400人が出場し、熱戦を繰りひろげます。どうぞ、多数ご声援ください。

▼日時 1月22日(日) 午前9時30分

▼会場 当別町公民館
▼主催 当別町青少年育成会

スキー・スケート場の電話番号

中小屋スキー場、当別及び西当別スケートリンクの電話番号は次のとおりです。

- ◎ご利用ください。
- ▼中小屋スキー場
- ◎7-12328
- ▼当別スケートリンク
- ◎2-2857
- ▼西当別スケートリンク
- ◎6-2572

雪での通行支障は各地区請負業者へ

除雪の基準は、早朝は降雪量がおおむね10センチ以上または、ふきだまり等のため通行に支障がある場合に除雪を開始し、午前7時までに路線を確保します。

路線が通行に支障のある場合は、それぞれの担当地区の請負業者、役場建設課機械センター係(☎3-2330内線35)、または車両センター

(☎3-2618)に連絡ください。また、路上駐車や道路に雪を出したり、歩道に積み上げてしまったり、歩道に積み上げて迷惑をかけることとなります。特に歩道に雪を投げることは、交通事故防止のためにもやめるようにお願いします。

参加者募集 婦人スキー教室

初心者を対象とした、婦人スキー教室を開催します。参加希望者は次により申込みください。

▼日時 1月17日(火)～19日(木)の3日間午前10時～12時まで
▼場所 中小屋スキー場
▼対象 初心者 30人
▼申込み 電話で1月14日まで
に教育委員会体育振興係

精神障害者 家族学習会

当別保健所では、精神障害者をもつ家族の方々を対象に学習会を開催します。この学習会は、病気の正しい理解と家族の役割などについて、是非知っていただきたいことを講師の先生を招いて

次回法律相談は 2月2日(木)に

昭和64年1月の法律相談日が、1月5日に予定されておりましたが、都合により取り止めとなり、次回の法律相談は、2月2日(木)となります。なお、法律相談についての問い合わせは、福祉保育課(☎3-2330内線13)まで。

長寿で健康なまちづくり③

健康保険事業安定化計画

① 1次予防の重要性

病気から体を守るには、2つの方法があります。日常生活の中で自らが健康づくりについて考え行動していく1次予防と、検診などを活用し早期発見、早期治療していく2次予防です。1次予防は「体の健康づくり」と「心の健康づくり」が大きなポイントです。中年を過ぎてからの健康づくりは遅すぎるといわれる方もいますが決してそのようなことはありません。それでは1次予防により健康な体づくりをしていくにはどうすればよいでしょうか。

■体の健康づくり

体の健康を保つためには第1に食事に気を配ることで、食事は栄養のバランスを考え、たくさんの種類の食品(1日30種類以上目標)をとらなければなりません。インスタント食品などで簡単にす

ませてばかりいると、偏食の原因となります。できるかぎり家庭でバランスのとれた食事を心掛けるようにしましょう。私たちの体には、

- ① からだの組織をつくる栄養 (肉、魚、乳製品)
- ② 働く力の元となる栄養 (穀類、いも、油脂)
- ③ からだの調子を整える栄養 (緑黄色野菜、果物)

の3つの栄養素が必要です。日ごろから食品に対する知識を身につけ、効率のよい食生活への気配りが大切です。体の健康を保つための第2は運動です。人の体はじっとしてはいるようにはできていません。動かなければならぬようにできています。例えば風邪をこじらせ一週間も寝込んでしまうと衰弱し、起きると体がフラフラした体験をおもちの方も多いためです。

運動不足を解消し成人病の予

防に有酸素運動は大変有効な手段です。これはランニングなどのような全身運動をゆったりとしたペースで長くつづけることにより、たくさんの酸素を体内にとりこみ循環器系、呼吸器系の機能を高める効果があります。そこで誰にでもすぐ実行できる健康増進法として歩くことをおすすめします。ぜひイラストを参考に明日からでも家族そろって

はじめてはいかがでしょうか。

■心の健康づくり

1次予防のもう一つのかねめは「心の健康づくり」です。心の健康は最近特に重要視されてきています。現代の社会生活では誰しもがストレスを感じているはずですが、ストレスを発散できず内にとめてしまつと、胃潰瘍や高血圧など肉体的症状、ノイローゼや心身症などの精神的症状があらわれます。胃潰瘍は急激なストレスの増加により一日その

症状があらわれることがあ

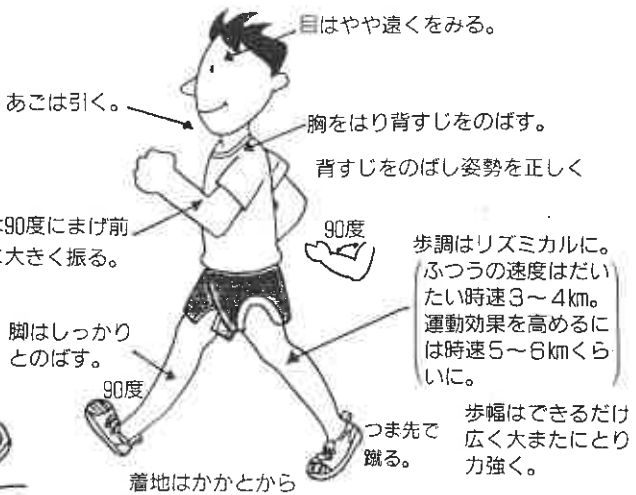
ります。ストレスを上手に解消していくには、毎日十分に睡眠をとるとともに、余暇を活用して気分転換をはかたり、趣味やスポーツに打ち込んで、日々の仕事から離れて精神の休息をはかることが大切です。

良い生活習慣は健康をつくり、悪い生活習慣は病気を

心掛けてください。

歩く—なによりの健康増進法

危険が少なく、誰でも、いつでも、どこでもできる安上がりで健康的にも効果が高い、「歩く」ことをあなたの生活の中へスポーツとしてとり入れましょう。



みんなの広場

当別町赤十字奉仕団 厚生大臣表彰受賞

厚生省が社会福祉事業に永年従事している者及び社会福祉事業の推進のため、奉仕者又は奉仕団体として率先して活動を行っているものを大臣表彰していますが、当別町赤十字奉仕団(桑嶋ミネ委員長)が、社会福祉事業奉仕団体として表彰されました。

表彰式は11月11日、東京都千代田区の日比谷公会堂で行われましたが、同奉仕団が出席できなかったため、道を通じ表彰状が当別町に届けられました。

12月6日、町役場において桑嶋ミネ委員長ら役員に、配野定平町長から表彰状と記念品が伝達されました。

同奉仕団は、昭和39年10月に設立され、現在の団員数は



459人で、毎年神社や墓地の清掃奉仕のほか、友愛セールの益金を老人ホームなど福祉施設に寄付をするなど、永年の活動が認められ受賞されたものです。

伝達のあと桑嶋委員長は「先代の役員の方の積み重ねがあったからこそ受賞されたもので、今後も地域のために活動していきます」と決意を新たにしていました。

町の魅力を紹介 タウンガイド当別

当別町の歴史や自然などを紹介した小冊子「タウンガイド当別」が作られました。これは多くの人に当別町を知ってもらおうと、企画課広報広聴係が制作したもので、縦19センチ、横8センチのポケットサイズの24冊だてとなっていました。

タイトルを「風の色、光の音」と題し、自然と人間とが調和した季節感あふれる街では、ときとして風にも彩りが、光にも音を感じることを抒情詩としてイメージ化したものです。

内容は、見開きに新しい当別をイメージさせる、スウェーデン交流センターの時計塔のある建てもを幻想的に取り上げ、以下テーマを「探



「参加する」「体験する」「触れる」「見る」「遊ぶ」「歩く」「食べる」「憩う」の9つの分野に分け、町の歴史、イベント、自然、食べ物、温泉などを紹介しています。

この小冊子は、近く全世界帯に無料配布すると共に、当別町を訪れた方にも、町を知ってもらうための活用することになっています。

なお、「タウンガイド当別」を必要とする方は、企画課広報広聴係(☎3-23330内線243)へ問い合わせください。

写真・ふる

さとの鳥 ⑩

夏の間は平地から低山の林で繁殖するので、あまり姿を見ませんが、秋から冬にかけて里にもおりて来て、餌台で脂身を食べることもあります。

カラ類やエナガ、キシリリと混群をつくることもあります。

コゲラ

の仲間です。ともにも一番小さく、スズメくらいの大さきです。色は薄い茶色と白のまだらで、雄の頭の後ろに赤い点がありますが、野外で見つけるのは難しいようです。木の幹や細い枝にもよく止まります。

ギーギーと床がきしむように鳴きます。



野館午郎さん撮影

ぐるーぷ・サークル紹介

心も身体も軽やかに

コスモスサークル



「お年寄りの足腰を鍛えるのには、ダンスは最高です」と平均年齢64歳のコスモスサークル会長の小山寿夫さん。現在17人の会員が毎週日曜日午後1時から2時間、ダンス喫茶エルムで快い汗を流します。

2年前にエルム経営者の工藤悦子さんに誘われ、「老化の防止に」とお年寄りに「お年寄りの足腰を鍛えるのには、ダンスは最高です」と平均年齢64歳のコスモスサークル会長の小山寿夫さん。現在17人の会員が毎週日曜日午後1時から2時間、ダンス喫茶エルムで快い汗を流します。

最近では月形町や滝川市で開催のダンスパーティーにも参加をするなど、交流の輪も町外にまで広がっているそうです。

近づくクリスマス・ダンスパーティーに向け、練習を続ける軽やかな姿になぜか心温まる感じがしました。

ちよっぴり身体が硬くなった方、参加をしてみませんか。

正々ワザのひと

No.135



おじいさん・おばあさん 22



村木 梅さん (太美町・83歳)

大好きな裁縫で リフォーム

「初めての土地だったのが、寂しい所だなと思ったが、今では多くの友達に囲まれ楽しい毎日です」と明治38年巳年生まれ村木さん。長寿園に住んで4年目になるそうで、大好きな裁縫で自分の服は勿論、友達の間から喜ばれています。

ここでは、毎月誕生会が開かれ、その月に生まれた人をお祝いするため、カラオケなども行われています。

「カラオケを知らなかったのが、今ではたくさん曲を覚え、歌うのが好きになりました」と笑いながら話します。

「2年前は、病気で一カ月入院生活をしたので、今年からは身体に気をつけて、趣味の手芸、輪なげやゲートボールで身体をリフレッシュさせなくて」と張り切るおばあさん。

これからも頑張ってください。

編集後記

昨年は、札幌大橋の開通で、記念すべき年となりました。今年も昨年10月に工事にいった町総合体育館が10月上旬に完成し、スポーツ振興に大いに役立つことでしょう。ところで今年も巳年です。すなわち蛇年ですが、蛇は生きてる間ずっと成長し続けます。発育にともなって、古い皮は3カ月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのと取り換えられます。

これを脱皮といいますが、お正月を機に今年こそは新しい試みをと、脱皮を心がけたいものです。

人のうごき

12月1日現在 (前月の比較)	
総数	16,084人 (+5)
男	8,067人 (0)
女	8,017人 (+5)
世帯数	5,300戸 (+14)
11月中の出生	13人
死亡	12人
転入	59人
転出	55人

当番医のお知らせ

当番医については変更することがあります。診療前に必ずお確かめください。また救急以外の夜間診療はさけてください。
 平日は17時より翌朝9時まで
 土曜は12時より翌朝7時まで
 日曜、休日は7時より翌朝9時まで

1月	①	②	③	4	5	6	7	⑧
	堀	堀	近	中	太	池	勤	中
	9	10	⑪	12	13	14	⑮	⑯
	太	堀	勤	堀	近	池	勤	太
	17	18	19	20	21	⑳	23	24
堀	池	近	中	堀	堀	堀	近	
2月	25	26	27	28	⑳	30	31	/
	堀	勤	太	中	堀	堀	近	
	1	2	3	4	⑤	6	7	8
	池	勤	中	太	堀	中	勤	近

- 池田医院 ☎ 3-2016 白樺町
- 近藤診療所 ☎ 3-2021 旭町
- 中央外科 ☎ 3-3004 旭町
- 太美中央病院 ☎ 6-2332 太美町
- 勤医協 ☎ 3-3010 末広町
- 堀江病院 ☎ 2-3111 樺戸町

戸籍の窓

11月16日～12月15日届出
おめでとごぞいませ

氏名	父母	住所
黒田麻衣子	儀久/正恵	六軒町
鈴木小太朗	修/美雪	太美町
三浦梨沙	智幸/直子	太美町
川村俊宏	義宏/勤子	川右岸
鏡原尚佳	勲/順子	春日町
片岡愛	啓明/正代	元町
小川英徳	義則/恵美	元町
田村大地	憲昭/郁子	春日町
坂田京介	洋一/琴美	北栄町
中鉢将太	正裕/久美子	春日町
谷口涼	賢治/浩子	対雁通

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	世帯主	住所
河村清美	(73)	本人	末広町
渡部シヅエ	(62)	孝徳	当別太
飯間キクエ	(75)	孝道	獅子内
佐藤ハツ子	(43)	芳夫	北栄町
上山てる	(87)	智亮	樺戸町
福井徳太郎	(89)	義雄	茂平沢
田中ユキ	(82)	巨	元町
堀内タカ	(64)	隆雄	太美町
小田重勝	(42)	本人	太美町
福島セン	(68)	辰	太美町
籙武司	(61)	本人	幸町

屋根からの落雪事故の防止

- いよいよ冬本番をむかえますが、毎年この時期になりますと、屋根からの落雪による事故が多発しています。
- 日中、特に気温が高くなる午前11時ごろから午後2時ごろまでの間が一番落ちやすくなります。
- 皆さんのお宅でも次のことに気をつけて、安全な冬の生活を送りましょう。
- ①家の軒下の通行は、できるだけひかえるようにしましょう。
 - ②小さい子供さんを屋外で遊ばせる場合は、軒下では遊ばせないようにしましょう。
 - ③屋根の雪が道路に落ちるような建物は、雪止めを付けましょう。
 - ④雪止めを付けた場合は、歩行者等に気をつけて、定期的に雪を降ろしましょう。
 - ⑤屋根からたくさん雪が落ちたときは、事故がないかどうかすぐに点検するとともに、歩行者の通行の支障にならないよう落雪の処理をしましょう。
 - ⑥災害時における避難路確保のため、出入口、窓、通路は常時除雪をしておきましょう。

1月7日は当別消防出初式

- 当別消防出初式を次のとおり行います。
- ▼日時 1月7日(土) 午前11時から
- ▼会場 当別町公民館
- ▼街頭行進 10時30分役場前を出発し、本通、米口呉服店、公民館前まで行進します。
- ▼ご寄付ありがとうございました
- 5万円 熊谷フサさん(大町) から夫二三男さん
- 4、861円 末広町老人クラブから
- 5万円 飯間孝道さん(獅子内) から妻キクエさん
- 3万円 田中巨さん(茂平沢) から母ユキさん
- 3万円 渡部孝徳さん(当別太) から母シヅエさん
- がそれぞれ死去したことに伴い、故人が生前お世話になったお礼として
- 靴下カバー81足 田村ミサホさん(万代町) から
- 4、331円 上村商店(中小屋) から
- 23、543円 社協事務局(白樺町) から
- それぞれ社協愛の小箱募金を
- 4、861円 末広町老人クラブから
- 雑布85枚 万代町老人クラブから
- 30万円 榊新和総業新井弘一さん(大町) から
- いづれも社会福祉協議会に寄付がありました。
- 50万円 河村宏樹さん(末広町) から父清美さんの死去に伴い、生前お世話になったお礼として、総合体育館建設基金に寄付がありました。
- 交通安全祈願マスコット40個 樺戸町婦人会から、交通安全に役立ててと寄贈されました。
- 寒暖計100本 田西洋三さん(旭町) から各小中学校に寄贈されました。